

事前評価個表

整理番号	16
------	----

地域（地区）名	きなん 紀南	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	和歌山県	対象市町村	田辺市ほか9市町村
事業実施期間	H31 ～ H35 （5年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は和歌山県の南部に位置し、その面積は238千haと県土面積の半分を占めている。本地区を構成する市町村は2市7町1村で、北西部は芳養川と南部川の分水嶺（下流側）及び日高川と有田川の分水嶺（上流側）で紀中森林計画区に、北部は龍神岳（1,382m）から安堵山（1,184m）、先丈山（1,027m）、果無山脈を経て甲ヶ森（987m）へと連なる山系で奈良県に、北東部は熊野川で三重県と接し、西部から南部を経て東部にかけては紀伊水道、熊野灘に面している。また、伐採木のほとんどが計画区域内の木材共販所へ出荷されている。</p> <p>民有林の人工林の齢級構成割合をみると、利用可能な8齢級以上の林分が94%を占めている。</p> <p>また、山村地域の過疎化、林業就業者の高齢化、木材価格の低迷、経営コストの増大等から林業経営を取り巻く環境は悪化しており、適正な管理がなされない森林が増加している。</p> <p>このため本事業では、森林の有する水源涵養や土砂流出防止等の公益的機能の維持増進のため間伐等の森林施業や、森林資源の循環のための主伐・再造林や獣害防護柵の整備、それらに必要な路網整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：8,515ha 人工造林、下刈り、除伐、枝打ち、間伐等</p> <p>路網整備：4,795m 林業専用道開設</p> <p>総事業費：4,528,503千円（税抜き4,193,058千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C = 7.06 （総便益（B）= 46,528,886千円、総費用（C）= 6,590,073千円）</p>
評価結果	<p>必要性：利用可能な8齢級以上の人工林を多く保有し、計画的な再造林や間伐等の適正な森林整備が求められており、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：木材の安定生産だけでなく、主伐後の再造林を推進し、適正な森林整備の実施により、水源涵養機能や土砂流出防止等の公益的機能の高度発揮を目指しており、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

都道府県名: 和歌山県

地域(地区)名: 紀南^{きなん}

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	10,695,882	
	流域貯水便益	5,523,839	
	水質浄化便益	16,659,387	
山地保全便益	土砂流出防止便益	7,330,497	
環境保全便益	炭素固定便益	5,342,582	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	1,856	
	木材利用増進便益	1,125	
	木材生産確保・増進便益	816,228	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	5,299	
	森林整備促進便益	152,191	
総 便 益 (B)		46,528,886	
総 費 用 (C)		6,590,073	
費用便益比	$B \div C = \frac{46,528,886}{6,590,073} = 7.06$		

森林環境保全整備事業計画

【紀南地域計画対象地域図】



北山村
林業専用道
平田大谷郡北山村

凡 例	
計画区界	
事業区域	
森林整備	
林業専用道	

対象市町村
 田辺市・白浜町・上富田町・すさみ町・新宮市・
 那智勝浦町・古座川町・北山村・串本町（9市町村）

